



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社じもとホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7161 URL <https://www.jimoto-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂爪 敏雄
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 菅原 正宏 (TEL) 022(722)0011
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有 特定取引勘定設置の有無 無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	28,668	1.9	2,747	1.2	1,808	△17.9
2024年3月期第3四半期	28,133	△0.0	2,713	-	2,203	-

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △403百万円 (-%) 2024年3月期第3四半期 2,438百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	67.63	9.05
2024年3月期第3四半期	101.68	13.26

(注) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,564,917	83,233	3.2
2024年3月期	2,680,825	83,626	3.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 83,027百万円 2024年3月期 83,394百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	-	900	-	33.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	26,840,263株	2024年3月期	26,840,263株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	88,950株	2024年3月期	99,869株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	26,743,635株	2024年3月期3Q	21,671,092株

(注)

1. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2025年3月期3Q33,800株、2024年3月期45,900株）が含まれております。
2. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2025年3月期3Q42,129株、2024年3月期3Q48,792株）が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期 (予想)				—	—

(注) 2025年3月期配当予想につきましては、未定としております。

C種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期 (予想)				—	—

(注) 2025年3月期配当予想につきましては、未定としております。

D種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期 (予想)				—	—

(注) 2025年3月期配当予想につきましては、未定としております。

E種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期 (予想)				—	—

(注) 2025年3月期配当予想につきましては、未定としております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(追加情報)	9
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	10
(参考)	
2025年3月期 第3四半期決算説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの経常収益は、貸出金利息等の資金運用収益が増加したことなどから、前第3四半期連結累計期間比5億35百万円増加の286億68百万円となりました。経常費用は、預金利息等の資金調達費用が増加したことなどから、前第3四半期連結累計期間比5億1百万円増加の259億21百万円となりました。その結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比34百万円増加の27億47百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比3億94百万円減少の18億8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、資産は、前連結会計年度末比1,159億7百万円減少の2兆5,649億17百万円、負債は、前連結会計年度末比1,155億14百万円減少の2兆4,816億83百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比3億93百万円減少の832億33百万円となりました。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は、消費者ローンが増加したことなどから、前連結会計年度末比86億89百万円増加の1兆9,248億63百万円となりました。預金残高(譲渡性預金含む)は、個人預金が増加したことなどから、前連結会計年度末比711億42百万円減少の2兆3,800億90百万円となりました。有価証券残高は、前連結会計年度末比132億94百万円増加の3,603億69百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である連結子会社のうち、株式会社きらやか銀行単体の当四半期末における貸出金残高は、前事業年度末比154億90百万円減少の9,674億45百万円、預金残高(譲渡性預金含む)は前事業年度末比857億12百万円減少の1兆1,443億85百万円となりました。株式会社仙台銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比242億95百万円増加の9,601億55百万円、預金残高(譲渡性預金含む)は前事業年度末比147億37百万円増加の1兆2,376億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月5日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

●きらやか銀行 単体業績予想(変更ございません)

第3四半期決算は四半期純利益10億23百万円を計上しましたが、与信関係費用が通期予想15億円に対して6億81百万円の実績となったことによるものです。

要因は、倒産発生や経営状況が悪化した取引先、再生支援の追加コストが当初予想よりも少なかったことです。

通期における与信関係費用は、当初予想どおり、年間15億円を見込んでおります。

①新規費用発生への備えとして、今後、取引先への物価上昇などの影響が顕在化することも念頭におき、当初予想どおり年間14億円を見込んでおります。

②再生支援費用は、支援継続先に対するサポートを展開しておりますが、追加発生や前倒し対応の可能性があり、当初予想どおり年間7億円を見込んでおります。

③取引先の債務者区分のランクアップによる貸倒引当金戻入益は、当初予想どおり年間6億円を見込んでおります。

このため通期業績予想は、経常利益2億円、当期純利益1億円を見込み、当初予想から変更はございません。

(単位:百万円)

	2025年3月期	(参考) 2024年3月期 実績
経常利益	200	△23,778
当期純利益	100	△24,428

●仙台銀行 単体業績予想(変更ございません)

金利上昇に伴い預金等利息が増加する見込みですが、貸出金利息や役員収益の増加、物件費の減少でカバーすることで、通期業績予想は、経常利益13億円、当期純利益8億円を見込み、当初予想から変更はございません。

(単位:百万円)

	2025年3月期	(参考) 2024年3月期 実績
経常利益	1,300	1,693
当期純利益	800	1,167

●じもとホールディングス 連結業績予想 (変更ございません)

じもとホールディングスの2025年3月期の連結業績予想は、経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億円の黒字回復を見込んでおり、当初予想から変更はございません。

(単位：百万円)

	2025年3月期	(参考) 2024年3月期 実績
経常利益	1,500	△22,329
当期純利益	900	△23,462

●じもとホールディングス 配当方針 (変更ございません)

2025年3月期の連結業績予想においては黒字回復を見込むものの、2024年11月5日に発表しましたとおり、普通株式及び各種優先株式の配当予想は未定としております。現時点において配当予想に変更はございません。

前回発表のとおり、年間配当水準は当社連結の通期業績予想に連動しておりますことから、今後の配当予想を開示する場合は、期末配当に一本化する予定でございます。

2024年9月20日に国の承認をいただき公表しました当社グループの経営強化計画は、2025年3月期以降配当を行う前提で記載しております。

当社及び子銀行は、経営強化計画を確実に実行することで黒字決算への回復と復配に取り組むとともに、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。

【配当予想】

基準日	中間	期末	年間
2025年3月期	0円00銭	未定	未定
(参考) 2024年3月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	358,624	250,296
買入金銭債権	756	811
金銭の信託	201	204
有価証券	347,075	360,369
貸出金	1,916,174	1,924,863
外国為替	12	—
リース債権及びリース投資資産	12,392	11,617
その他資産	51,075	19,217
有形固定資産	20,456	19,627
無形固定資産	1,659	1,381
退職給付に係る資産	5,015	5,344
繰延税金資産	294	252
支払承諾見返	5,481	5,659
貸倒引当金	△38,394	△34,727
資産の部合計	2,680,825	2,564,917
負債の部		
預金	2,269,810	2,207,894
譲渡性預金	181,422	172,196
借入金	128,761	83,809
その他負債	8,199	8,664
賞与引当金	714	344
退職給付に係る負債	108	145
睡眠預金払戻損失引当金	145	121
偶発損失引当金	1,058	942
繰延税金負債	677	1,137
再評価に係る繰延税金負債	817	768
支払承諾	5,481	5,659
負債の部合計	2,597,198	2,481,683
純資産の部		
資本金	28,733	28,733
資本剰余金	78,862	78,862
利益剰余金	△3,402	△1,481
自己株式	△88	△78
株主資本合計	104,104	106,036
その他有価証券評価差額金	△22,319	△24,553
土地再評価差額金	1,806	1,693
退職給付に係る調整累計額	△197	△148
その他の包括利益累計額合計	△20,710	△23,008
非支配株主持分	232	206
純資産の部合計	83,626	83,233
負債及び純資産の部合計	2,680,825	2,564,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	28,133	28,668
資金運用収益	17,516	18,453
(うち貸出金利息)	16,760	17,523
(うち有価証券利息配当金)	522	513
役務取引等収益	4,993	4,990
その他業務収益	1,097	847
その他経常収益	4,525	4,378
経常費用	25,419	25,921
資金調達費用	195	1,075
(うち預金利息)	141	822
役務取引等費用	2,858	2,901
その他業務費用	998	837
営業経費	16,768	16,224
その他経常費用	4,598	4,881
経常利益	2,713	2,747
特別利益	788	97
固定資産処分益	124	97
収用補償金	664	—
特別損失	791	255
固定資産処分損	142	106
減損損失	649	149
税金等調整前四半期純利益	2,710	2,588
法人税、住民税及び事業税	348	335
法人税等調整額	149	471
法人税等合計	497	806
四半期純利益	2,212	1,782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,203	1,808

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,212	1,782
その他の包括利益	226	△2,185
その他有価証券評価差額金	169	△2,234
退職給付に係る調整額	57	48
四半期包括利益	2,438	△403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,429	△376
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,015百万円	1,220百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	22,716	4,927	27,644	491	28,135	△1	28,133
セグメント間の 内部経常収益	61	42	103	337	440	△440	—
計	22,777	4,970	27,747	828	28,576	△442	28,133
セグメント利益	2,460	190	2,650	80	2,731	△17	2,713

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業を含んでおります。

3. 調整額は以下の通りです。

セグメント利益の調整額△17百万円はセグメント間消去等です。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当四半期連結会計期間において重要な減損損失は認識しておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	23,626	4,686	28,312	441	28,754	△85	28,668
セグメント間の 内部経常収益	43	48	91	567	658	△658	—
計	23,669	4,734	28,403	1,009	29,412	△744	28,668
セグメント利益又は損失 (△)	2,442	304	2,747	△0	2,747	△0	2,747

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業、事務受託業及びコンピュータシステム開発・保守・運用受託業等を含んでおります。
3. 調整額は以下の通りです。
セグメント利益又は損失の調整額△0百万円は、貸倒引当金戻入の調整です。
4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当四半期連結会計期間において重要な減損損失は認識しておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式給付信託(BBT))

当社は、当社並びに当社子会社である株式会社きらやか銀行及び株式会社仙台銀行(以下「当社グループ」という。)の取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下「対象役員」という。)に対して業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

1. 取引の概要

当社が拠出する金銭を原資として、本制度に基づき設定される信託を通じて当社株式を取得します。取得した当社株式は、対象役員に対して、当社グループが定める「役員株式給付規程」に従い、受益者要件を満たした者に当社株式等を給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末39百万円、45千株、当第3四半期連結会計期間末29百万円、33千株であります。

<参考>

当社は、2024年6月20日開催の定時株主総会及び2024年9月27日開催の臨時株主総会をもって辞任・退任した当社グループの取締役7名に対して、「役員株式給付規程」に従い、当社株式12千株を給付しております。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年2月12日

株式会社じもとホールディングス

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 白倉健司

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田修

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社じもとホールディングスの2024年4月1日から2025年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2024年10月1日から2024年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。

(参考) 2025年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス【連結】

2025年3月期第3四半期の連結経常収益は、前年同期比5億35百万円増加の286億68百万円となりました。
 経常利益は、前年同期比34百万円増加の27億47百万円となりました。
 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比3億94百万円減少の18億8百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2024年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2024年3月期 (12カ月間)
連結経常収益	1	28,668	28,133	535	37,942
連結業務粗利益	2	19,475	19,554	△79	18,098
資金利益	3	17,377	17,321	55	23,180
役務取引等利益	4	2,088	2,134	△46	3,229
その他業務利益	5	9	98	△88	△8,311
営業経費 (△)	6	16,224	16,768	△543	22,258
貸倒償却引当費用 (△)	7	1,057	735	321	19,135
貸出金償却 (△)	8	118	409	△290	495
個別貸倒引当金繰入額 (△)	9	700	—	700	15,642
一般貸倒引当金繰入額 (△)	10	73	—	73	2,124
債権売却損 (△)	11	9	1	8	44
偶発損失引当金繰入額 (△)	12	—	169	△169	578
信用保証協会責任共有制度負担金 (△)	13	154	156	△1	250
その他 (△)	14	—	0	△0	0
貸倒引当金戻入益	15	—	47	△47	—
株式等関係損益	16	46	281	△235	734
偶発損失引当金戻入益	17	115	—	115	—
持分法による投資損益	18	—	17	△17	28
その他損益	19	392	316	76	202
経常利益	20	2,747	2,713	34	△22,329
特別損益	21	△158	△3	△155	△1,092
税金等調整前四半期純利益	22	2,588	2,710	△121	△23,422
法人税等合計 (△)	23	806	497	308	36
法人税、住民税及び事業税 (△)	24	335	348	△13	561
法人税等調整額 (△)	25	471	149	322	△525
四半期純利益	26	1,782	2,212	△430	△23,458
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△は非支配株主に帰属する四半期純 損失)	27	△26	9	△35	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	28	1,808	2,203	△394	△23,462

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (連結) 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 (※)) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(※) じもとホールディングス【連結】、2行合算及び子銀行単体の資金調達費用については、金銭の信託運用見合費用を控除しております。

(2) 2行合算

(単位：百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2024年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2024年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	24,637	24,009	628	32,390
業務粗利益 ①	2	19,357	19,397	△39	17,916
(コア業務粗利益 (①-②))	3	19,498	19,558	△60	26,507
資金利益	4	17,388	17,333	55	23,235
役員取引等利益	5	1,963	1,970	△7	3,000
その他業務利益	6	5	92	△87	△8,318
(うち国債等債券損益) ②	7	△141	△161	20	△8,590
経費 (除く臨時処理分) (△)	8	15,839	16,358	△519	21,700
人件費 (△)	9	7,464	7,757	△292	10,230
物件費 (△)	10	7,095	7,115	△20	9,532
税金 (△)	11	1,279	1,485	△206	1,937
実質業務純益 ③	12	3,517	3,038	479	△3,783
コア業務純益 (③-②)	13	3,658	3,199	459	4,807
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	14	3,645	3,145	500	4,678
一般貸倒引当金繰入額 (△) ④	15	73	△63	136	2,257
業務純益	16	3,444	3,101	342	△6,040
臨時損益	17	△869	△521	△347	△16,044
うち株式等関係損益	18	88	276	△188	723
うち不良債権処理額 (△) ⑤	19	1,065	917	148	16,464
うち貸倒引当金戻入益 ⑥	20	-	184	△184	21
うち偶発損失引当金戻入益 ⑦	21	115	-	115	-
うち償却債権取立益	22	44	76	△31	91
経常利益	23	2,574	2,579	△5	△22,085
特別損益	24	△202	△3	△199	△1,076
税引前四半期純利益	25	2,372	2,576	△204	△23,161
法人税、住民税及び事業税 (△)	26	309	304	4	489
法人税等調整額 (△)	27	399	152	247	△390
四半期純利益	28	1,663	2,119	△456	△23,260
与信関係費用 (④+⑤-⑥-⑦)	29	1,023	669	354	18,700

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 子銀行単体

① きらやか銀行

2025年3月期第3四半期の経常収益は、前年同期比2億24百万円増加の128億47百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したことなどから、前年同期比5億32百万円増加の22億92百万円となりました。
経常利益は、コア業務純益が増加したことなどから、前年同期比3億82百万円増加の13億94百万円となりました。
四半期純利益は、前年同期比27百万円増加の10億23百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2024年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2024年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	12,847	12,623	224	17,272
業務粗利益①	2	10,413	10,472	△58	6,170
(コア業務粗利益(①-②))	3	10,440	10,489	△49	14,340
資金利益	4	8,826	8,833	△7	11,873
役務取引等利益	5	1,474	1,444	30	2,234
その他業務利益 (うち国債等債券損益)②	6	112	193	△81	△7,936
	7	△26	△16	△9	△8,170
経費(除く臨時処理分)(△)	8	8,147	8,729	△581	11,486
人件費(△)	9	3,768	4,007	△239	5,294
物件費(△)	10	3,726	3,873	△147	5,180
税金(△)	11	653	848	△195	1,011
実質業務純益③	12	2,266	1,743	523	△5,316
コア業務純益(③-②)	13	2,292	1,759	532	2,854
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	2,292	1,759	532	2,779
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	△32	△63	30	2,257
業務純益	16	2,298	1,806	492	△7,573
臨時損益	17	△904	△794	△109	△16,205
うち株式等関係損益	18	△112	2	△115	276
うち不良債権処理額(△)⑤	19	806	760	46	16,247
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	—	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	92	—	92	—
うち償却債権取立益	22	26	75	△48	90
経常利益	23	1,394	1,011	382	△23,778
特別損益	24	△67	42	△110	△1,002
税引前四半期純利益	25	1,326	1,054	272	△24,781
法人税、住民税及び事業税(△)	26	16	15	0	35
法人税等調整額(△)	27	287	42	244	△388
四半期純利益	28	1,023	995	27	△24,428
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	681	697	△15	18,504

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

② 仙台銀行

2025年3月期第3四半期の経常収益は、前年同期比4億3百万円増加の117億90百万円となりました。

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少及び物件費の増加などにより、前年同期比73百万円減少の13億66百万円となりました。

経常利益は、前年同期比3億87百万円減少の11億80百万円、四半期純利益は、前年同期比4億83百万円減少の6億40百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2024年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2024年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	11,790	11,386	403	15,118
業務粗利益①	2	8,943	8,924	19	11,746
(コア業務粗利益(①-②))	3	9,058	9,069	△11	12,166
資金利益	4	8,562	8,499	62	11,362
役務取引等利益	5	488	525	△37	766
その他業務利益	6	△107	△100	△6	△381
(うち国債等債券損益)②	7	△114	△144	30	△420
経費(除く臨時処理分)(△)	8	7,692	7,629	62	10,213
人件費(△)	9	3,696	3,750	△53	4,935
物件費(△)	10	3,369	3,241	127	4,352
税金(△)	11	626	637	△11	925
実質業務純益③	12	1,251	1,295	△43	1,532
コア業務純益(③-②)	13	1,366	1,439	△73	1,953
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	1,352	1,385	△32	1,898
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	106	—	106	—
業務純益	16	1,145	1,295	△149	1,532
臨時損益	17	34	272	△237	160
うち株式等関係損益	18	201	274	△72	446
うち不良債権処理額(△)⑤	19	258	156	101	217
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	—	184	△184	21
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	22	—	22	—
うち償却債権取立益	22	18	1	17	1
経常利益	23	1,180	1,567	△387	1,693
特別損益	24	△134	△45	△89	△73
税引前四半期純利益	25	1,045	1,522	△476	1,619
法人税、住民税及び事業税(△)	26	293	288	4	453
法人税等調整額(△)	27	111	109	2	△1
四半期純利益	28	640	1,123	△483	1,167
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	341	△27	369	195

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2025年3月期第3四半期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

2. 金融再生法に基づく開示債権及びリスク管理債権

(1) じもとホールディングス【連結】

(単位：百万円)

	2024年12月末	2024年3月末比		2024年3月末	2023年12月末
		2024年3月末比	2023年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,087	△4,336	8,319	22,423	9,768
危険債権	72,956	△508	12,000	73,465	60,956
要管理債権	3,479	△218	△2,418	3,697	5,897
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	3,479	△218	△2,418	3,697	5,897
(合計)(A)	94,523	△5,063	17,901	99,587	76,622
正常債権	1,880,906	11,628	△3,241	1,869,278	1,884,148
(総与信額)(B)	1,975,430	6,565	14,659	1,968,865	1,960,770
総与信額に占める割合(A/B)	4.78%	△0.27%	0.88%	5.05%	3.90%

(2) 2行合算

(単位：百万円)

	2024年12月末	2024年3月末比		2024年3月末	2023年12月末
		2024年3月末比	2023年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,597	△4,358	8,253	21,955	9,343
危険債権	72,558	△376	11,732	72,934	60,825
要管理債権	3,479	△218	△2,418	3,697	5,897
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	3,479	△218	△2,418	3,697	5,897
(合計)(A)	93,634	△4,954	17,568	98,588	76,066
正常債権	1,869,419	11,946	△2,272	1,857,472	1,871,691
(総与信額)(B)	1,963,053	6,992	15,295	1,956,060	1,947,757
総与信額に占める割合(A/B)	4.76%	△0.28%	0.86%	5.04%	3.90%

(3) きらやか銀行

(単位：百万円)

	2024年12月末		2023年12月末比	2024年3月末	2023年12月末
		2024年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,373	△4,453	7,996	19,827	7,377
危険債権	45,505	△807	11,304	46,313	34,201
要管理債権	389	—	△2,139	389	2,529
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	389	—	△2,139	389	2,529
(合計)(A)	61,268	△5,261	17,160	66,530	44,108
正常債権	931,655	△11,645	△33,419	943,301	965,075
(総与信額)(B)	992,923	△16,907	△16,259	1,009,831	1,009,183
総与信額に占める割合(A/B)	6.17%	△0.41ポイント	1.80ポイント	6.58%	4.37%

(4) 仙台銀行

(単位：百万円)

	2024年12月末		2023年12月末比	2024年3月末	2023年12月末
		2024年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,223	94	257	2,128	1,965
危険債権	27,053	431	428	26,621	26,624
要管理債権	3,089	△218	△278	3,308	3,367
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	3,089	△218	△278	3,308	3,367
(合計)(A)	32,366	307	407	32,058	31,958
正常債権	937,763	23,592	31,147	914,170	906,615
(総与信額)(B)	970,129	23,900	31,555	946,229	938,574
総与信額に占める割合(A/B)	3.33%	△0.05ポイント	△0.07ポイント	3.38%	3.40%

3. 時価のある有価証券の評価損益

きらやか銀行と仙台銀行は、既に保有しているファンド内で一時的に日本国債などの短期の債券へ切り替えを行うことで、評価損の拡大を抑制しております。また、SBIグループと連携し、再度、金融市場の動向を踏まえ、ファンド内にて信用力の高い海外債券に投資を行うことで、その収益の一部を評価損の解消に順次充当し、中長期的な解消に取り組む方針としております。

(単位：百万円)

		2024年12月末					2024年3月末			2023年12月末		
		評価損益	評価益	評価損	2024年 3月末比	2023年 12月末比	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
じもと HD (連結)	満期保有目的	△315	—	315	△204	△219	△110	0	110	△95	0	95
	其他有価証券	△24,571	941	25,512	△2,248	6,375	△22,322	1,061	23,384	△30,946	1,069	32,016
	株式	643	807	164	△257	△115	900	937	37	758	845	87
	債券	△1,066	7	1,074	△545	611	△521	46	567	△1,678	58	1,736
	其他	△24,147	126	24,274	△1,446	5,879	△22,701	77	22,779	△30,027	165	30,192
2行合算 (単体)	満期保有目的	△315	0	315	△199	△213	△116	0	116	△101	0	102
	其他有価証券	△24,578	933	25,511	△2,255	6,367	△22,322	1,056	23,379	△30,945	1,064	32,010
	株式	638	803	164	△261	△116	899	936	37	755	842	87
	債券	△1,066	7	1,073	△549	606	△516	46	562	△1,672	57	1,730
	其他	△24,150	123	24,274	△1,445	5,877	△22,705	73	22,779	△30,028	164	30,192
きらやか 銀行 (単体)	満期保有目的	△186	—	186	△186	△186	—	—	—	—	—	—
	其他有価証券	△10,313	266	10,580	△657	7,507	△9,655	357	10,013	△17,821	574	18,395
	株式	125	180	54	△93	△204	218	250	31	329	405	75
	債券	△189	7	196	△148	1,154	△40	45	85	△1,344	52	1,396
	其他	△10,249	79	10,329	△415	6,557	△9,834	61	9,895	△16,806	116	16,922
仙台銀行 (単体)	満期保有目的	△129	0	129	△12	△27	△116	0	116	△101	0	102
	其他有価証券	△14,264	666	14,931	△1,597	△1,140	△12,666	699	13,365	△13,124	490	13,614
	株式	513	622	109	△167	88	680	686	5	425	436	11
	債券	△876	0	876	△400	△548	△475	0	476	△328	5	333
	其他	△13,901	43	13,944	△1,029	△680	△12,871	12	12,883	△13,221	48	13,269

- (注) 1. 仙台銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づくじもとホールディングス連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、じもとホールディングス連結の有価証券評価損益と子銀行の有価証券評価損益の総額の合計は一致いたしません。
2. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「其他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。
3. 2018年6月期に、きらやか銀行が満期保有目的の債券を売却したことに伴い、2020年3月期までに取得した仙台銀行の満期保有目的の債券は、じもとホールディングス連結において「其他有価証券」に計上しております。

4. 預金等、預かり資産、貸出金の残高

(1) 預金等の残高

- ・きらやか銀行の預金等の残高は、個人預金及び法人預金、公金預金の減少により、前年同月末比887億95百万円減少の1兆1,443億85百万円となりました。
- ・仙台銀行の預金等の残高は、法人預金及び公金預金の増加などにより、前年同月末比24億61百万円増加の1兆2,376億45百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年12月末		2024年3月末	2023年12月末	
			2024年3月末比			
2行合算	預金等	2,382,030	△70,975	△86,333	2,453,006	2,468,364
	うち個人預金	1,497,836	△62,208	△79,628	1,560,045	1,577,465
	うち法人預金	631,515	△46,718	△1,132	678,233	632,647
	うち公金預金	248,740	37,757	△5,634	210,983	254,375
きらやか銀行 (単体)	預金等	1,144,385	△85,712	△88,795	1,230,098	1,233,180
	うち個人預金	750,877	△60,456	△76,128	811,334	827,006
	うち法人預金	353,267	△49,413	△5,366	402,680	358,634
	うち公金預金	38,740	24,190	△7,092	14,550	45,832
仙台銀行 (単体)	預金等	1,237,645	14,737	2,461	1,222,907	1,235,183
	うち個人預金	746,958	△1,752	△3,500	748,711	750,458
	うち法人預金	278,248	2,695	4,234	275,553	274,013
	うち公金預金	210,000	13,567	1,457	196,433	208,543

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 預かり資産残高

- ・きらやか銀行の預かり資産残高は、生命保険及び公共債が減少したものの、投資信託の増加により、前年同月末比6億85百万円増加の982億54百万円となりました。
- ・仙台銀行の預かり資産残高は、生命保険及び投資信託の増加などにより、前年同月末比33億5百万円増加の941億2百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年12月末		2024年3月末	2023年12月末	
			2024年3月末比			
2行合算	預かり資産残高	192,357	2,643	3,990	189,713	188,366
	投資信託	37,429	1,420	4,009	36,008	33,419
	公共債(国債等)	4,483	352	685	4,130	3,797
	生命保険	150,444	869	△704	149,574	151,149
きらやか銀行 (単体)	預かり資産残高	98,254	△1,790	685	100,044	97,568
	投資信託	23,215	1,011	2,878	22,203	20,337
	公共債(国債等)	793	△33	△44	826	837
	生命保険	74,245	△2,769	△2,148	77,014	76,393
仙台銀行 (単体)	預かり資産残高	94,102	4,434	3,305	89,668	90,797
	投資信託	14,213	409	1,131	13,804	13,081
	公共債(国債等)	3,690	386	730	3,304	2,959
	生命保険	76,199	3,638	1,443	72,560	74,755

(注) 生命保険は、保険料一時払いかつ個人契約分を記載しております。

(3) 貸出金の残高

- ・きらやか銀行の貸出金の残高は、中小企業向け貸出の減少に加え、政策的にシンジケート・ローンや仕組ローン等の大企業向け貸出を減少させたことなどから、前年同月末比142億23百万円減少の9,674億45百万円となりました。
- ・仙台銀行の貸出金の残高は、中小企業向け貸出の増加に加え、住宅ローン残高が増加したことなどから、前年同月末比320億20百万円増加の9,601億55百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年12月末		2024年3月末	2023年12月末	
			2024年3月末比			2023年12月末比
2行合算	貸出金	1,927,600	8,805	17,797	1,918,795	1,909,803
	中小企業等貸出金残高	1,733,083	26,295	42,037	1,706,787	1,691,046
	うち消費者ローン	644,534	33,146	44,166	611,388	600,368
	中小企業等貸出金比率	89.90%	0.95 ^{ポイント}	1.36 ^{ポイント}	88.95%	88.54%
きらやか銀行 (単体)	貸出金	967,445	△15,490	△14,223	982,935	981,669
	中小企業等貸出金残高	846,923	△4,216	△2,576	851,139	849,499
	うち消費者ローン	262,225	12,043	13,793	250,182	248,432
	中小企業等貸出金比率	87.54%	0.95 ^{ポイント}	1.01 ^{ポイント}	86.59%	86.53%
仙台銀行 (単体)	貸出金	960,155	24,295	32,020	935,859	928,134
	中小企業等貸出金残高	886,160	30,511	44,613	855,648	841,547
	うち消費者ローン	382,309	21,103	30,373	361,206	351,936
	中小企業等貸出金比率	92.29%	0.87 ^{ポイント}	1.62 ^{ポイント}	91.42%	90.67%